

令和5年10月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和5年10月16日 午後 2時30分開会 午後 3時46分閉会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、八代豊教育長職務代理者 岩澤千恵子委員、上野幸子委員、飯田昌利委員
	欠 席	なし
説明のため出席 した者の氏名・ 職名	今野教育政策部長、成田参事兼教育総務課長、島村教育政策部次長兼学 校教育課長、土崎生涯学習課長、坂口教育サポートセンター長、桜谷柳 瀬川図書館長、樺嶋いろは遊学館副館長兼いろは遊学図書館長、石川生 涯学習課主任	
会 議 書 記	浦野教育総務課主査	
傍 聴 人	4人	
会 議 内 容	<p>議 題 第30号議案 市指定文化財の指定について</p> <p>報告事項 令和4年度教育費決算について</p> <p>その他</p>	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○**柚木教育長**

令和5年10月定例教育委員会会議の開会を宣す。

傍聴希望者について、傍聴を許可した。

＊＊ 傍聴人 入場 ＊＊

議事録署名委員に上野委員を指名した。

会議書記に浦野主査を指名した。

9月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎**教育委員会報告**

○**今野教育政策部長**

9月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 9月 30日 宗岡第二小学校運動会
- ・ 10月 2日 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問（宗岡第三小学校）
- ・ 10月 3日 教職員人事評価校長中間申告教育長面談
- ・ 10月 4日 教職員人事評価校長中間申告教育長面談
複数・少人数指導体制推進事業第1回検証委員会
志木第三小学校宿泊学習（6日まで）
- ・ 10月 5日 教職員人事評価校長中間申告教育長面談
- ・ 10月 6日 埼玉県都市教育長協議会第2回定例協議会
- ・ 10月11日 市内陸上競技大会（志木第二小学校・宗岡第三小学校）
- ・ 10月13日 いろはふれあい祭り（15日まで）

◎**第30号議案 市指定文化財の指定について**

○**柚木教育長**

第30号議案 市指定文化財の指定について、説明を求める。

○**土崎生涯学習課長**

さきほど現地で見えていただいた「中宗岡の御嶽塚」1基を、志木市指定文化財の有形民俗文化財として指定することについて、議決を求めるものである。御嶽塚は県内や全国に数多くあるが、ここまで大型で形態も優美で、木曾の御嶽山の形状を忠実に模したものはないと考えている。名称は「中宗岡の御嶽塚」、所有者は個人、種別・種類については民俗文化財・有形民俗文化財、所在地は志木市中宗岡2丁目1155-9、数量は御嶽塚1基である。この「中宗岡の御嶽塚」は、庶民の信仰である木曾御嶽山信仰に基づき、明治25年頃に宗岡一山公により築造された擬岳であり、塚には、御嶽山大神、八海山大神、三笠山大神碑をはじめ、御嶽信仰に特徴的な霊神碑などがある。また、石像物の多くは碑であり、明治期に建てられた寄附連名

碑からは、与野や内間木、東京からも信仰を集めたことがわかり、地域における山岳信仰のあり方を示す貴重な文化財である。

○飯田委員

数量が御嶽塚1基という表現になっているが、これは視察させていただいた全ての部分ということによろしいか。また、指定することによって、生涯学習課として今後どういう展開をし、市民の方や市外の方々に知っていただくように考えていることはあるか。

○土崎生涯学習課長

全てひっくるめて1基という形である。指定した後は広くPRしていくが、具体的には文化財マップへの掲載や、志木のまち案内人の会などに、文化財巡りなどで積極的に取り入れて周知を図っていただく。また、富士山信仰と関連があると考えているので、田子山富士塚と関連づけて、子どもたちも含めて広くPRをしていきたいと考えている。

○岩澤委員

実際に見させていただいて、所有者の方が大変きれいに保存されていて、長年ずっと守り続けていらっしやうと感じた。先ほど指定を受けてからの話の中に、市の大事な遺産としてマップの中に記載したりするとの説明があったが、場合によっては登るようなこともあるかと思うので、少し整備して、ぜひ市内の大事な遺産を守っていただければと思う。

○土崎生涯学習課長

保存会のように管理していただける方がいらっしやらないので、自由に登るというのはなかなか難しいと考えているが、年に何回か登る日を定めて、皆さんに広く周知できればと考えているところである。

○上野委員

現地を見させていただいてとても素晴らしいと思ったが、これが指定文化財になって、周辺に車が入り込んできたりすると、近隣からの苦情が来ないか少し心配である。入口の方に民家が結構あったので、そのあたりの整備は今後どのようにしていくのか。

○土崎生涯学習課長

現時点では状況が見えないところもあるが、もし近隣の方へのご迷惑になるようなことがあれば、看板を付けるなど、何かしらの対応は考えていきたい。

○柚木教育長

他に質問はあるか。

○全委員

なし。

○**柚木教育長**

第30号議案 市指定文化財の指定について、原案のとおりよろしいか。

○**全委員**

異議なし。

○**柚木教育長**

第30号議案 市指定文化財の指定については、原案のとおり可決された。

◎**報告事項 令和4年度教育費決算について**

○**成田参事兼教育総務課長**

令和4年度教育費決算について、所属ごとに主な事業を説明する。はじめに、教育総務課、学校教育課、教育サポートセンターの各所属長より説明する。なお、資料の事業報告書は、地方自治法に基づく「主要な施策の成果を説明する書類」に位置付けられており、今回は教育費について抜粋している。

まず、教育総務課の主な事業について説明する。小学校施設管理に要する経費について、主な事業としては、宗岡第二小学校体育館大規模改修工事、志木小学校等複合施設空調設備改修工事（第3工区）を実施したものである。つづいて、中学校施設管理に要する経費について、主な事業としては、宗岡第二中学校校庭工作物撤去新設工事を実施したものである。

○**島村教育政策部次長兼学校教育課長**

学校教育課の主な事業について説明する。まず、教職員研修等に要する経費については、教員の資質向上を図るための研修会等の費用や、教員に欠員が出た場合、市費で臨時的教員を派遣するためのものである。つづいて小学校教育活動支援に要する経費は、スマート教員、水泳業務委託料、宿泊補助等となる。最後に中学校教育活動支援に要する経費については、生きる力推進講師、中学校学力検査補助金、ベーシックサポート事業等の謝礼金である。

○**坂口教育サポートセンター所長**

教育サポートセンター費の決算及び事業について説明する。まず、教育相談等に要する経費の主なものは人件費で、臨床心理士、特別支援教育支援員、学校福祉相談員等の報酬や期末手当のほか、日本語指導員、スーパーバイザーなどの報償費となっている。学校福祉相談員は、令和4年度より会計年度任用職員になり、報償費から報酬対応に変わっている。また、令和3年度にタブレット端末とWi-Fi設備の整備を行い、昨年度はオンライン相談が13件実施された。教育サポートセンター運営管理に関する経費の主なものは、センターがある総合福祉センターの負担金、印刷や通信費、公用車の借上料等である。

○**飯田委員**

教育相談等に要する経費の報告で、(2)派遣等事業内の①特別支援教育プログラム事業の内容を読ませていただいて、素晴らしいサポートをされていると感じた。これをするることによって、対象の子ども達はどのような変化が起きているのか。

○坂口教育サポートセンター所長

配慮が必要な児童生徒につける支援員なので、子どもの自己肯定感を高めたり、実際に作品等を作った時にすぐそばで褒めてあげたりしている。なかなか上手くできない子どもたちは、劣等感をつけてしまいがちだが、やり方を説明してあげたりして、他の児童生徒のような作品ができあがったり、学習ができたりしているというところである。

○岩澤委員

同じく教育相談等に要する経費の報告で、(2)派遣等事業内の中に研修の実施というのがある。教職員を対象とした研修が多く実施されているかと思うが、もう少し詳しく教えていただきたい。

○坂口教育サポートセンター所長

教職員を対象とした研修会については、特別支援が必要なお子さんに対する支援の仕方や、障がいの種類、気をつけること等について、実際に学校に赴き、研修会ということで講師として派遣している。

○柚木教育長

特定の学校で実施したのか。

○坂口教育サポートセンター所長

去年は宗岡小学校で行った。

○岩澤委員

先生方の平均年齢も若くなり、特別支援教育に関することがまだ十分ではなく、それに悩んでいる先生方もたくさんいらっしゃると思う。この教職員を対象とした研修を市全体で取り組む計画等はされているのか。この研修は、子どもたちが居場所をなくすような、学校に居づらいうような雰囲気醸し出さないための研修だったと思う。研修を市の小学校全体に広めていくような策を取っていただけると、もう少し子どもたちは楽に学校生活を送れるかなという気がする。

○坂口教育サポートセンター所長

4月の校長会等でもこのような研修会がある。また、相談員に資料を作っていただいて、学校に赴いていろいろな説明をする事業でもあり、昨年度については1回だけだったが、今年度は複数回やっていて、もう少し広げていきたいと思う。

○八代教育長職務代理者

小学校教育ICT推進に要する経費、中学校教育ICT推進に要する経費について、事業の内容や成果については大変充実していて、特にGIGAスクール関係のサポーターや、一人一台端末の効果的な活用などで大変満足しているが、不用額を見ると150万円以上ある。今後さらに成果を向上させるために、どのように進めていくかなどの考えはあるか。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

ICT関係は、一人一台端末を昨年からフルで活用するようになり、昨年度は学校訪問の時の一つの項目としてiPad活用を入れ、全校で実際やってみて、お互いに検証し合えるような部会を設置した。その関係もあり、全体会や分科会の中でもiPadを使った形で進めることで、今まで少しハードルが高くて手が出なかった先生も自然に使えるような環境や、またその中で新しい使い方をお互いに共有するような場を設定して、昨年一年で教員間の使用が広まり、さらに授業で積極的に使えるようになった関係ですごく上達したというのが一年間の成果だと思う。本年度も引き続きiPadを使うICTの部会は残っていて、3年間を目途にやっていくつもりなので、来年もさらに深めていきたいと考えている。

○八代教育長職務代理者

そうすると、GIGAスクールサポーターの学校派遣については、もう十分だったということか。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

GIGAスクールサポーターの方は、毎回いらっしゃるとそこに頼り切りになってしまうところがある。いなくなったら授業ができないでは困ってしまうので、少しずつ教員が自分で出来るような形でのサポートをお願いしている。年々量を減らしつつ自分達で運用し、その中でわからないところだけ確認できるよう、学校に対しても周知している。

○飯田委員

小学校給食管理に要する経費の給食調理業務委託のところで、学校別に見ると、志木小学校の金額が高くなっているが、何か理由はあるのか。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

この委託は食数との関連があるので、児童数の多いところは値段が上がってしまう。どの学校も同じように委託をお願いしているが、子どもの数に対しての計算になっている関係で、調理員の数も扱う食材の量も増えるので、志木小が少し高くなっている。

○上野委員

小学校教材備品に要する経費で、学校別に見ると児童数に応じた備品購入額ではない気がするが、金額の多い少ないにはどういった意味合いがあるのか。児童数が最も多い志木小学校がそれほどでもなく、宗岡第三小学校の金額が一番多くなっている。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

子どもの数である程度金額を分けているところもあるが、それ以外に、例えばピアノが老朽化してしまい新しいものを買うなど、どうしても大きな備品を買わなくてはならないときは、配当しているお金だけでは買えないので、それを購入する分が別途準備してあり、大きいものを買った学校は少し金額が増えている。その部分を除くと、児童数によってある程度配当しているところである。他には、学校から要望があった備品の見積りを頼んだときに、値引きの関

係で多少ばらつきが出て、その結果がこのような形になっている。

○上野委員

不用額が440万円になっている。小学校の方からは替えてもらえないのかなと話を聞くこともあるし、少し古い運動用品を結構見るので、これだけ不用額があるなら買い替えてもらってもいいのではないかと思うが、そのあたりはいかがであるか。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

まとめて入札している関係で金額がぐっと下がるものが多くあり、最終的にこういう差金が出てしまったというところである。

○飯田委員

部活動指導補助員報酬費についてお尋ねしたい。部活動補助員の活用の報告で、それぞれの学校がどのように使ったかという結果が出ている。昨今、外部委託について話が出ていて、志木市でも考えていかななくてはいけないと聞いているが、外部委託が入ってくると、ここに予算がついていくことになるのか。

○柚木教育長

これは令和4年度の決算で、まだそういう状況には入っていないが、本市も部活動のあり方については検討をしているところなので、将来、地域移行になったら、そのような事業の予算から出していくことになるのではないかと思う。これから検討を続けていく。

○岩澤委員

教職員の研修等に要する経費について、予算執行率が68.63%となっている。令和4年度は特別このような執行率になる理由があったのか、教えていただきたい。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

市費で採用して派遣している臨時的職員の予算も一つになっている関係で、執行率は、毎年このくらい余裕がある状態で終わるようになっている。急な病休やケガをされた場合等、県費の申請まで1カ月近くかかり、その分を市費で補うところがあるので、余力を持って予算を組んでいるところである。全部使い切ってしまうと、人がいないのに派遣できなくなってしまう事態が生じるので、それがないようにもともと多めに、無理を言っていた部分で、その関係で執行率が低くなっている。

○岩澤委員

先生方はiPadの研修を中心に、コロナ禍のあたりから充実された研修を実施されていたと思うが、学校訪問など、先生方の指導で外部の方をお呼びするような形を、今はどのくらい行っているのか聞かせていただきたい。一時期コロナの関係で外部の方をお呼びしないでやっていたことがあったと思うが、専門の方が来て指導されると、図工等の研修では、若い方が力をつけてきたりするので、そのあたりをどのように進めているのか。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

今、南部管内13市町で、教科関係なくこの形をやっているのは本市だけで、本市のやり方を南部教育事務所が他の市に紹介していただいているところである。外部指導者を呼ぶやり方はいいところもあるが、例えば中学校だと同じ教科しかやらないので、毎年同じ指導者で同じ授業をやっていることも度々あり、研修にならないこともある。技術や家庭科、音楽等、どうしても一人のところはそういうことが起きやすく、マンネリ化するとどんなにいい研修でも質が落ちてくるので、毎年形を変えている。昨年だとiPadと小学校はスマート教員の活用、中学校は学力向上で、今年は校内課題研修とiPad、小中一貫でやっている。これも続けていくと質が落ちてくるので、何年かごとに見直しを考えている。以前のような形も検討に入れているが、来年やるかまでは決まっていない。

○柚木教育長

以前のように、他の市から指導者を呼んでの形はやらないのか。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

今年度は指導主事が指導者になる。県の指導主事向けの研修会があり、それを終えたところで、各主任とZoomで30分程度の伝達講習をやっている。来年度以降も、新しいことを伝えるというのも大事であるし、県の方で習ってきたものも指導主事だけの物にしてはもったいないので、今年はそういう形で少し指導力向上の工夫をしている。

○成田参事兼教育総務課長

つづいて、生涯学習課、いろは遊学館、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館より説明する。

○土崎生涯学習課長

社会教育・生涯学習に要する経費については、社会教育委員への報酬、人権研修会等の講師謝礼、はたちの記念式等に係る業務委託料、そのほか社会教育関係団体補助金などが主な支出である。地域文化振興に要する経費は、地域文化の創造と振興を市民自ら推進していくことを支援するための経費で、市民文化祭、美術展覧会等の委託料や、文化体験道場に関する講師謝金などが主な支出である。放課後子ども教室に要する経費については、放課後子ども教室を市内全小学校において実施したもので、放課後志木っ子タイム運営委託料を支出している。文化財保護に要する経費については、指定文化財の保護・保存管理を行うとともに、市民の文化財保護の意識の向上を図ったもので、指定文化財所在地の草刈り業務委託や資料マイクロフィルム電子化業務委託料、文化財保管用倉庫の賃貸借料、田子山富士塚築造150周年・吉田胎内開基130周年記念事業に関する補助金等である。次にスポーツ推進に要する経費は、市民大会の委託料、体育協会等への補助金などが主な支出である。市民体育館管理運営に要する経費については、指定管理料のほか、原油価格の高騰に伴う高熱水費等の支出の増に対し、指定管理者へ継続支援負担金を交付した。秋ヶ瀬運動場施設管理運営に要する経費については、指定管理料、総合グラウンドの樹木伐採やトイレ撤去に係る業務委託料、サッカー場脇のトイレ設置工事の費用と、移動式簡易水洗トイレとスポーツトラクターのアタッチメントの備品購入費

等である。なお、負担金及び交付金については、市民体育館同様、原油価格高騰に伴う光熱水費の支出増に対し、指定管理者へ継続支援負担金を交付したところである。

○樺嶋いろは遊学館副館長兼いろは遊学図書館長

はじめに、いろは遊学館費について説明する。いろは遊学館事業に要する経費は、学社融合事業、高齢者事業、サークル支援共催事業等の各種事業を実施するための経費で、当初は35事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1事業を中止した。つづいて、いろは遊学館管理運営に要する経費は、いろは遊学館等複合施設を効率的かつ安全安心に管理運営するための経費である。次に、公民館費を説明する。宗岡公民館管理運営に要する経費については、宗岡公民館の指定管理者である志木市文化スポーツ振興公社への委託料が主な経費となっている。つづいて、宗岡第二公民館管理運営に要する経費については、宗岡第二公民館の指定管理者である志木市社会福祉協議会への委託料となっている。なお、いろは遊学館事業に要する経費の「高齢者のスマホ講座」の講師謝金、いろは遊学館管理運営に要する経費と宗岡公民館管理運営に要する経費におけるインターネット無線LAN環境の整備工事費については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和3年度に補正、繰越明許費を設定し、令和4年度に支出している。

○桜谷柳瀬川図書館長

柳瀬川図書館事業に要する経費は、市民の図書館利用の促進や生涯学習の支援のため、乳幼児から高齢者まで、また障がいをお持ちの方への対面朗読サービスなど各種事業を実施するものである。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で積極的に事業を行い、子ども向けには「えほんのじかん」、「おはなし会」等を、しき図書館パートナーズ事業では、毎月1回、「ボードゲーム」や「村上春樹読書会」等を実施した。次に、柳瀬川図書館図書購入に要する経費については、図書館の図書及び視聴覚資料を購入する経費で、リクエストや多様なニーズを踏まえ、幅広い分野の資料購入に努め、蔵書に隔たりが生じないように留意して魅力ある構成を図った。また、読書を通じた子どもたちの健やかな成長につなげるため、市内小学校新1年生に読書通帳を配付し、読書意欲を高め、図書館の利用に結びつけるきっかけづくりに努めた。購入冊数は図書が5,437冊、視聴覚資料は121点である。最後に、柳瀬川図書館管理運営に要する経費については、施設設備の維持管理や、会計年度任用職員、図書館コンピュータシステムの管理などの経費で、令和4年度はコンビニエンスストアでの図書館資料返却サービスの拡充、新しい生活様式に即したセルフ貸し出し機器の導入で、利用者の利便性向上に努めた。

○樺嶋いろは遊学館副館長兼いろは遊学図書館長

いろは遊学図書館図書購入に要する経費については、予算執行率98.46%で、書籍3,211冊、視聴覚資料114点を購入した。つづいて、いろは遊学図書館事業に要する経費については、併設する志木小学校との連携事業をはじめ、ぬいぐるみお泊り会、サタデーフレンズ、子ども司書講座と、主に幼児から小学生を対象とした事業展開を行った。いろは遊学図書館管理運営に要する経費は、会計年度任用職員の報酬等が主な経費であるが、スキルアップのために独自に職員研修を実施した。また、新たにセルフ貸出機バーコードリーダーを2台購入

し、コロナ対策として、非接触タイプの貸出手続きを提供した。

○岩澤委員

いろは遊学図書館の説明の中で、研修を独自にやっているという話があったが、具体的に教えてもらいたい。

○樺嶋いろは遊学館副館長兼いろは遊学図書館長

昨年度に行った職員研修では、接遇の研修を行った。毎年、会計年度任用職員の面接で、「利用者とのコミュニケーションで気をつけていることは何か」という質問をしていて、それに対して「相手の話をよく聞くこと」という答えが一番多く挙がるが、実際にそれが実践できているかという問いに対して、「あまり自信がない」という答えが多かったので、心理学者の大学の先生をお招きして、傾聴とは何かという講義を行ったところである。

○八代教育長職務代理者

それぞれの図書館図書購入に要する経費であるが、視聴覚資料について、例えば宗岡公民館図書室には全然置いていない。また、どこにある視聴覚資料でも借りられるが、その場では借りられない状況である。将来において、宗岡公民館図書室にも視聴覚資料を置くという考えはあるか。

○桜谷柳瀬川図書館長

宗岡公民館図書室には視聴覚資料を所蔵していないが、現在、配信等で個人のスマートフォンなどにダウンロードしたりする関係で、CD、DVD等の購入できる点数が非常に減っている。今あるものを借りられなくするという事は考えていないが、新規の購入はかなり難しいと思っている。

○八代教育長職務代理者

例えば柳瀬川図書館やいろは遊学図書館と、宗岡地区の図書室との所蔵点数を比較すると、明らかに宗岡地区の方が少なく、かねてよりそれはどうなのかなと思っていたところである。確かに所蔵する場所も狭いので、それも関係するのかなと思っていたが、また、全体的な点数が減ってきているのもわかるが、買うよりも借りた方が当然安く見ることができるので、そういう利便性をもっと良くする、あるいは、できれば宗岡公民館にもいくらか所蔵できておくといった。

○桜谷柳瀬川図書館長

宗岡公民館図書室については、お話があったとおり、かなりスペースが狭いので、所蔵場所や置く場所も考えなければいけないと思う。また、今あるものを移管するなどの意見については検討していなかったなので、今後検討をしていきたいと思う。

○八代教育長職務代理者

地域の方は、視聴覚資料が図書館に置いてあることを知らない方が多く、借りられるという

意識があれば、他の図書館にあっても借りられるが、そういう意識さえない状態なので、質問したところである。

◎その他

令和5年度柳瀬川図書館まつりについて

○桜谷柳瀬川図書館長

10月21日に、柳瀬川図書館において図書館まつりを開催する。午前10時から午後4時までの間、午前中を中心にイベントを行う予定である。イベント内容は、2階の視聴覚室で10時から「大人のためのおはなし会」、11時からは「えほんのじかんスペシャル」として、よみきかせボランティアの方が大型絵本を読むほか、柚木教育長と今野教育政策部長にもご出演いただき、絵本を1冊ずつ読んでいただく予定になっている。その他、図書館入口脇のラウンジでは、企画展示で、「しき図書館パートナーズ」が毎年開催してきた市民協働事業について、今までの軌跡を展示する。また、地階児童コーナーに下りる踊場では、館内にあるクイズを巡って回答する「クイズラリー」を行い、正解者には景品をお渡しする。今まで図書館を利用したことがない方々にも、図書館の魅力を発信するイベントを企画しているところである。

学校図書館との連携について

○桜谷柳瀬川図書館長

去る9月22日に、柳瀬川図書館で学校図書員勉強会を行った。市内小・中学校の学校図書員に集まいただき、TRCブックキャラバンという、学校図書館で購入するのにお勧めのシリーズなど新刊の児童書を中心に、400冊程度展示をしてもらい、実際に手に取る現物選定を行った。はじめに、柳瀬川図書館児童書担当職員から、選書の視点について説明をした後、自由に閲覧し、学校図書員同士で情報交換などを行った。現物選定はほとんど初めてで、大変有意義だったとの感想をいただいた。また、市内各小中学校図書館での取り組みを紹介している資料をお配りしたが、これらをパネルにして、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館、宗岡公民館、宗岡第二公民館に掲示する。期間は10月24日～11月24日までの1カ月間である。柳瀬川図書館は1階ラウンジと地階ヤングアダルトコーナーの2箇所に掲示予定で、普段、なかなか見ることができない学校図書館を、保護者はもちろんのこと、市民の皆様にもご紹介して、広く学校図書館の様子を周知する機会を持っていただくことをねらいとしている。

○岩澤委員

昔はそれぞれ現地に行き、実際に本を手にとって購入していたが、参加された方の反応はどうだったか。

○桜谷柳瀬川図書館長

現物選定をやったのが久しぶりで、学校図書員の方々もほとんどが初めての経験だった。今までは表紙や説明文だけで選んでいたものも、実際に手にとって現物を見ることによっていろいろな視点で選定でき、非常にためになったということで、ぜひ来年も早い時期にやっ

てほしいという要望があった。

○岩澤委員

購入の時期よりも前にやるとすごく効果的なのでお願いしたい。

小中学生ビブリオバトル大会の実施報告について

○樺嶋いろは遊学館副館長兼いろは遊学図書館長

小中学生ビブリオバトル大会が先月24日に行われ、結果は資料のとおり、小学生が中学生を破るという結果になった。今回はレベルが高く、観覧いただいた皆さんからは、慰労やお礼のお言葉、「これからも頑張る」というお言葉をいただいたところである。成果としては、最初の一步として何とか実施でき、来年度に伝えていけるかなと思っている。特にチャンプ本を発表した子は、最初は嫌がっていたが、周りのサポートもあり、とても落ち着いた良い発表をしてくれた。今回、小さな勇気を振り絞って頑張ってくれたが、これが次の勇気を連れてくる、読書をきっかけに成長する体験をしてもらっていると実感した。今後の課題としては、今回、市内の4つの中学校に協力をお願いをして、3つの中学校に出席いただいたが、来年は4つの学校が出揃うといいなと思っている。また、お客さんは大人の方が多かったので、できれば同世代に向けて公開し、また、まだビブリオバトル自体の浸透度が低いというところもあるので、小さい機会を積み重ね、PRにも努めていきたい。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

他になれば、これをもって令和5年10月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は元本)